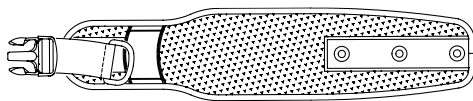
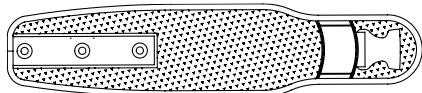


AEROMESH®速乾入浴介助ベルト2ピース型の取付 ・取扱説明書

ART NOS. BB101M-1 & BB101L-1



この説明書にはBodypointのすべての2ピースAeromesh®速乾入浴介助ベルトの安全な使用とメンテナンスに必要な重要情報が記載されています。使用者またはその介護人にこの説明書を渡し、内容を説明して、インストラクションが確実に理解されるようにしてください。

車椅子や座位保持装置への取付けには、オプションのBODYPOINTベルト取付けハードウェアを使用することができます。

⚠ 警告! 窒息の虞があるため、骨盤部を安定させずに胸部ベルトを使用するのは危険です。常にしっかりと固定した膝または大腿部支持ベルトと共に使用してください。

⚠ 警告! 本製品はシャワー椅子/椅子型室内用便器に座っている人の位置決めのみ使用してください。輸送用安全装置、個人用拘束装置としての使用、または故障が傷害を招く可能性のあるその他の適応での使用は意図していません。本製品の誤用は認可されず、危険です。

⚠ 警告! 本製品が誤って外れると、使用者が滑り抜けたり、シャワー椅子/椅子型室内用便器から落ちたりする可能性があります。使用者の動作または認識能力によって誤って外れる可能性がある場合、使用中は常に介護人が付き添う必要があります。介護人は必ず本製品の外し方を知っておく必要があります。これができないと、緊急時に取り外しが遅れる恐れがあります。

メンテナンス: 縫い目、ウェビング、パッドに摩耗の兆候がないか、定期的に点検してください。大きな摩耗があった場合は、サプライヤーに連絡してBODYPOINTの認定修理または交換を受けてください。いかなる場合も、資格のない人がこの製品を変更したり、修理したりしないでください。健康と安全がそれにかかっています!

🧺🪣🧼🧻 洗浄: 洗濯機洗い、温水、60°C (140°F)。漂白しないこと。乾燥機乾燥、低温、またはそのまま干して乾燥。アイロンをかけないこと。(洗濯中は製品を布袋に入れ、製品やマシンに傷が付かないようにしてください。)

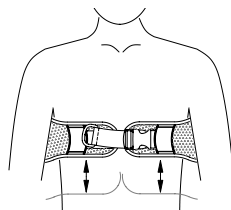
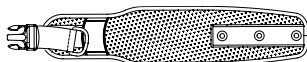
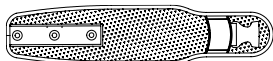
保証: この製品には、オリジナルの消費者による正常な使用から生ずる材料および仕上がりにおける瑕疵に対する生涯限定保証が付いています。保証請求については、サプライヤーまたはBODYPOINTに連絡してください。

BODYPOINT製品の詳細情報、および米国外の販売代理店の一覧は、WWW.BODYPOINT.COMをご覧ください。



MDSS GmbH
Schiffgraben 41
D-30175 Hannover
Germany





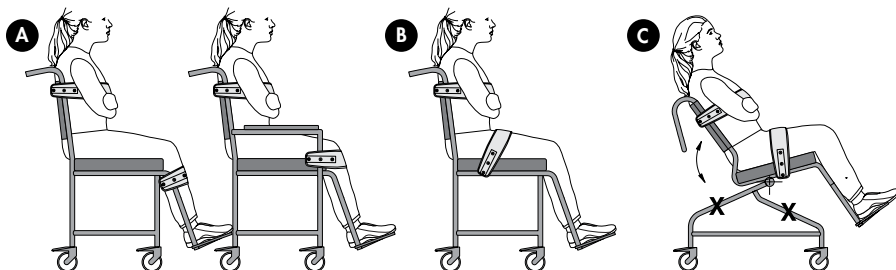
パッケージの内容

パッケージは以下の一つ以上を含む場合があります。

- Aeromesh®速乾入浴介助ベルト
- オプション: フレームクランプ (物品番号HW310)、バンドクランプ (物品番号HW320)、ノブ (物品番号FA812-BP)

位置決め

使用者にシャワー椅子/椅子型室内用便器に座ってもらい、姿勢を正します。ベルトの所望の位置を決めます。位置を選ぶ際は、他の装置の妨害を考慮してください。頸部圧迫や体幹部の不自由の危険性を減らすために、ベルトは高すぎても低すぎてもいけません。



取付け提案事項

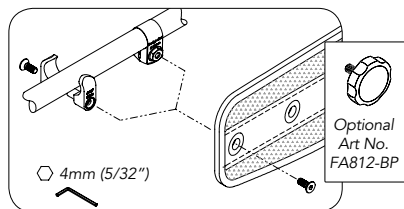
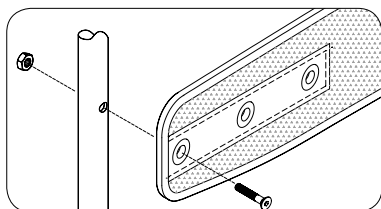
A 胸部、膝部 (好適)

使用者のニーズを考慮して、図示の好適位置の一つにベルトを取付けることのできる車椅子での適切な取付け箇所を見つけます。

B 大腿部 (オプション)

C 角度可変椅子

ベルトは、基点より上の上部フレームに取付けてください。基点より下にベルトを取付けると、ベルトの張力を妨害したり影響を及ぼしたりする可能性があります。

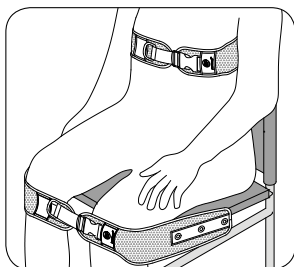


取付け

直接ネジ取付け

椅子のフレームや固いシート/背に直接取付ける場合は、6mm (1/4-20インチ) の平頭ねじやボタン頭ねじを使用してください。取付けねじには最低90kg (200ポンド) の引抜き強度がなければなりません。同梱されていません。

フレームクランプまたはバンドクランプ付き
フレームクランプを所望の位置でシャワー椅子/椅子型室内用便器に装着し、定位置で締めます。ベルトの上とクランプの中に二番目のねじをグロメットを通じて挿入します。しっかりと締めます。



調節

使用者に適正に座ってもらい、ベルトの適合度を確認します - 使用者が安全なように快適にしてください。適合度を少し調節するには、Dリングを使用してストラップを締めます。適合度を大きく調節するには、取付けグロメットを使用します。

安全点検

椅子に適正に配置したら、使用者に前方や左右交互に傾いてもらい、固定を確認します。確認事項:

1. バックルや調節ストラップの正常な動作。
2. 快適度 - 刺激のある領域がないか探します。
3. 位置 - 高すぎたり低すぎたりすれば、締め具取付け位置を調節します。
4. 他の装置の妨害 - 締め具取付け位置を必要に応じて定め直します。
5. 傾き、折畳み、巻上げ等、あらゆる範囲の動きを通じて椅子を動かします。何か妨害物がないか確認します。"